

じんせい の ターニングポイント

使徒 16章6～10節

ある夜、パウロは幻を見た。ひとりのマケドニヤ人が彼の前に立って、「マケドニヤに渡って来て、私たちに助けてください」と懇願するのであった。パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニヤへ出かけることにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだ、と確信したからである。(9-10)

私たちはおとなになるまでの間、その時に応じて神様の導きと答えを体験します。その中には、とても重要な人生のターニングポイント (turning point) があるでしょう。レムナントのパウロは、祈りながら、このターニングポイントを正確に確認しました。

パウロはアジアに行って福音を伝える計画をたてて、そちらに行こうとしました。アジアを通過してこそ、パウロが祈っているローマに行くことができたからです。ところが、神様はこの道を禁じられて、マケドニヤに行くターニングポイントを与えられました。神様がローマを越えてヨーロッパに向かう計画を準備しておられたからです。そして、マケドニヤに向かったパウロは、ルデヤという準備された弟子に会いました。それから、神様は重要なターニングポイントごとに、大切な出会いを準備してくださっていて、そこにはいつも神様が備えられたいやしの計画が隠されていました。パウロが思いもよらない道を行くように、神様が大きなターニングポイントに導いてくださったのです。私たちが契約の旅程を行くときも、神様はターニングポイントを与えてくださり、いやしの計画を成し遂げられるでしょう。それをあらかじめ知って準備するレムナントになりましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。パウロのように、細かく聖霊に導かれて、人生のターニングポイントで正確に導きを受けるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私のターニングポイントになった神様のみことばはありますか。そのみことばを書いて、すべてをみことばで導かれる神様に感謝の祈りをしましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank space for writing names and preparation materials.



マケドニヤから ローマへ

かようび

使徒
19章 21節

これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

はじめには終わりがありません。同じように出発地には目的地があります。神様は人間を目的地に向かって生きるものとして創造されました。ところが、サタンによって目的地を失い、さまよい生きるようになったのです。

神様は、レムナントのパウロを呼ばれたとき、ローマに向かう計画を持って呼ばれました。そして、異邦人と王たちに福音を伝える器として準備したと言われました。このように、神様は救われたすべての人に、その人のための計画と目的地を備えておられます。

レムナントは、他の人が避けて通る場所へ行く大切なチャンスを与えられました。多くの方が大喜びして好むようなところは、間違った目的地です。他の人が行かない所に行けば、神様の計画が見えます。希望のない人々と希望のない場所に向かって、福音の希望を持って行けば、道が見えるようになります。そこは空いたところで、そこには神様が隠しておかれた答えがあるのです。

レムナントは、神様の計画を成し遂げていく人です。パウロのように、神様がくださる目的地を見つけない一日になるように祈りましょう。神様が私にゆだねてくださったこの時代のローマが見えるでしょう。



きょうのみことば

Handwriting practice lines for the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。今日も神様が私にくださったことをもって、神様が与えてくださるローマを見つけるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

点をつないで絵を完成させ、神様が言われたローマに向かうパウロの姿に色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for drawing or notes related to the church service.

Blank lines for preparing materials for church service.

ふくいんのぶんかをつくる レムナント

ヨシュア 1章 8節

この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにするされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。

神様選ばれた民であったイスラエルの民は、神様が与えられたみことば、祈り、伝道の文化の中にいました。しかし、サタンにだまされて、神様を離れて、偶像化した神殿の文化によって奴隷、捕虜、属国になって滅びました。そのとき、神様がレムナントのモーセを通してイスラエルの民を解放して下さり、荒野を抜けて神様が約束されたカナンに行くようにしてくださいました。

荒野という何も無い場所での時間は、エジプト文化で刻印、根、体質になっていたことを完全に変える重要な時刻表になりました。神様は神様自身が呼ばれたモーセとともにおられ導かれたように、ヨシュアとともにいて導き、働くことと約束してくださいました。そして神様は、ヨシュアに神様のみことばを任せて、そのみことばの流れの中で、一度も行ったことがないカナンの地の7部族31人の王を征服する答えを与えてくださいました。

今、私の家庭と学校の現場を、一度も行ったことない荒野の道として、カナンの地へ行くのと同じ道として見ることができます。神様はいつもみことばをくださり、そのみことばを成し遂げられる方です。この事実を信じて、モーセとヨシュアのように、私があるその現場の文化を福音で生かすみことばの証人になるように祈りましょう。

きょうのみことば



神様、ありがとうございます。神様がくださる力で霊的サミットになって、現場の文化を福音に変えることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私の心を曇らせる現場の問題はありますか。下の空いているところに書いて、私にあるその問題を福音で生かすように、祈りで挑戦しましょう。

みことばを 適用しよう

考えるだけで、とっても苦しい！
私の心を暗くさせる問題があります。

その問題は

私はこの問題を
神様のみことばによって解決します！
そして、このみことばを握ります。

このみことばは

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび 準備する資料

かみさまが いちばん たいせつに みて おられる ことに しゅうちゅうしよう

創世記
13章 14節

ロトがアブラムと別れて後、主はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。

アブラハムは偶像を作って売っていた家の子どもでした。ところが、神様はそのようなアブラハムを呼ばれ「あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。」と言われました。神様は、はじめからアブラハムに世界福音化の祝福を約束されたのです。ところが当時、アブラハムには子どもはなかったので、かわりにおいのロトを連れて出発することにしました。そのため、二人には争いと葛藤が絶えませんでした。そのとき、アブラハムは神様のみことばに従っていくことを決断し、祭壇を築き、礼拝の祝福を味わいました。こうして、ロトと別れたアブラハムは、神様がくださった約束のみことばを握りました。その結果、神様はアブラハムを祝福されて、はじめに与えられた世界福音化の約束を再び語られ、アブラハムはそのみことばのとおり、答えの場にいるようになりました。

今どんな問題がありますか。神様はレムナント一人ひとりを大切にしてください。みことばを成し遂げることを願っておられます。今、契約を握りましょう。そうすれば、私のいる場所が、全世界237か国の空いたところをいやすサミットの場になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。アブラハムのように、神様がくださったみことばの成就の答えによって、全世界237か国を生かす現場にいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈ります。アーメン



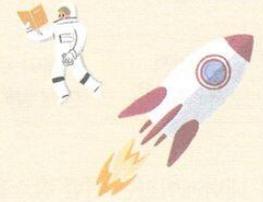
読書旅行

5月はどんな本を読みましょうか



子どものための
第四次産業革命
ガイドブック

チョン・ユンソン著 | ダラクウェン出版 (韓国)



世界は今、まったく新しい産業時代について話しています。第四次産業革命です。1900年代後半から起こった第三次産業革命では、コンピューターの登場によって作業の「自動化」が実現しました。人間の指示によって、コンピューターに人間の作業（単純作業）の代替（代わり）をさせるようになったのです。やがてコンピューターは、人間の指示がなくても自律的に学習できるほどに発達しました。発達したAI（＝コンピューター）が人間の高度な作業まで代行できるようになったのです。こうして訪れたのが、第四次産業革命です。ですから、今まで存在しなかった職業が新しく登場して、代わりに馴染みのある職業の大部分が消えると言われていのです。このように変化する時代のために、私たちはあらかじめ知って準備しなければなりません。5月にはこれからの未来の時代について一足先を知ることができるように「子どものための第四次産業革命ガイドブック」を紹介します。

この本には子どもが必ず知っておくべき第四次産業革命に関する情報がいっぱいあります。特に、重要なキーワードを中心に展開される内容を見ながら、一冊の本を通して、第四次産業革命の長所だけでなく短所もバランスよく見るべきです。それとともに、第一次、第二次、第三次産業革命に続いて、第四次産業革命を迎えた今、時代は変わっても、変わらない神様のみことばだけが真理ということをお覚えましょう。「子どものための第四次産業革命ガイドブック」は、これから訪れる新しい時代に神様が最も願われることを発見する重要なきっかけになるでしょう。

(訳者注：この本は韓国語です。邦訳はありません)

きょうのでんどう

会う人

準備する資料

14

さんようび

せかいふくいんかに いく みち

使徒
27章 24節

こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

道しるべは、行きたい場所に着くために最も速くて安全な道を案内するものです。神様は私たちにみことばという霊的な道しるべをくださいました。イエス・キリストに会って伝道者になったレムナントパウロにも、神様は霊的な道しるべをくださいました。それゆえパウロは、どんな困難と迫害も、世界福音化に行く道であることを信じました。彼は時代の強大国ローマへ行って、皇帝と多くの権力者に福音を伝えることが世界を福音化する道であることを悟りました。

パウロがローマへ行くために通った道は決して平坦なものではありませんでした。ローマに向かう船が暴風によって漂流したこともあります。しかし、その船にいた多くの人々は、むしろそのことによって救われ、目的地へ行く途中で少しの間立ち寄った地域では、そこを掌握していた偶像文化を崩す伝道運動が起きました。

私たちが受けたこの福音は、問題と事件を越える神様の力です。神様は、このような福音を持つ私といつもともにおられます。パウロのように、私たちの歩みも世界福音化を目指すものです。この事実を信じて今日も一日を始めましょう。

きょうのみことば

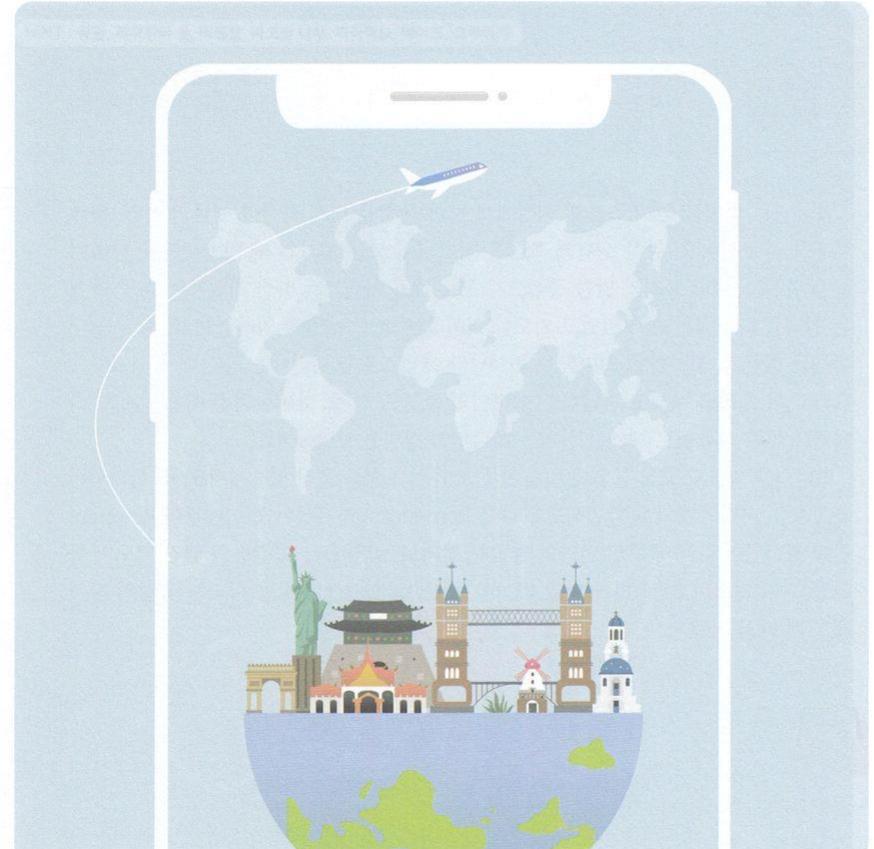
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。パウロのように、神様の完ぺきな計画を与えてくださったので、世界福音化に行く道で、すべての祝福を味わって伝えることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

私のローマはどこでしょうか。私のローマを握るために受けた霊的な道しるべであるみことばを、下の絵の中にも書きましょう。神様が私を通してなされることを期待して祈りましょう。



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

せかいを いかす
かみさまの ほうほう

民数記
8章4節

燭台の作り方は次のとおりであった。それは金の打ち物で、その台座から花弁に至るまで打ち物であった。主がモーセに示された型のとおり、この燭台は作られていた。

神様は出エジプトしたイスラエルの民の荒野生活を導かれ、エジプトの刻印、根、体質を変えてくださいました。すべての部族が幕屋に向かって入り口を作った荒野生活の核心は、礼拝中心とみことば中心に、すべて従っていくことでした。幕屋の中には、契約をあらわす箱があり、祈りを意味する火皿、いのちを意味するパン、いやしを意味する洗盤、罪の赦しを意味する全焼のいけにえの祭壇とキリストをあらわす燭台がありました。そして、この祝福を味わって伝える異邦人の庭、祈りの庭、子どもたちの庭がありました。神様は、このような聖なる物によって、世界を生かす神様の方法を見せてくださいました。

神様は今も、ただ福音のみことばを宣言する教会を動かしておられます。また、神様は23時、いやし、サミットの答えを確認する者レムナントとして私を呼んでくださいました。これからレムナントらしく、神様が私にくださった契約のみことばを握ると決断しましょう。その決断をこめた祈りのともしびが、消えることなく24時、光を放つとき、神様は私を私のいる現場を生かす答えの座に導いてくださるでしょう。



きょうのみことば



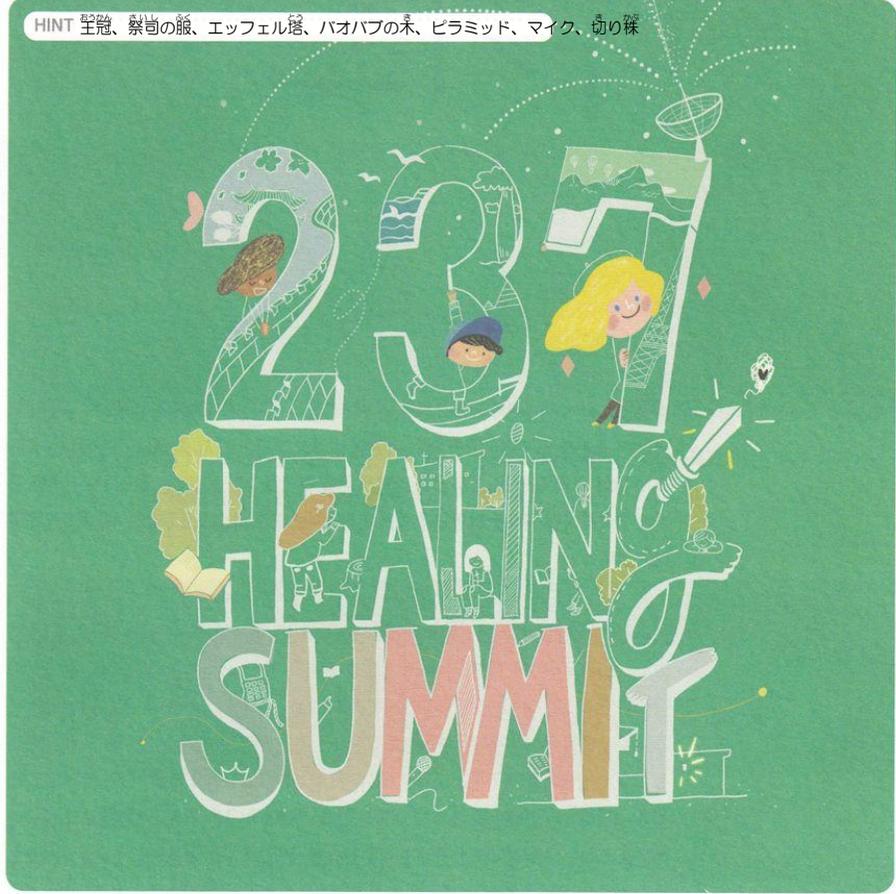
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。この時代を生かすレムナントとして、福音のともしびを消さずに、現場に光を放つ伝道者の祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵を
みつけよう

世界を生かす神様の方法のひとつに異邦人の庭、祈りの庭、子どもたちの庭があります。3つの庭の中に隠れている絵を見つけて私たちの教会現場を生かす祈りをしましょう。



HINT 聖籠、祭司の服、エッフェル塔、バオバブの木、ピラミッド、マイク、切り株



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料
